

## もの言う牧師のエッセー 第97話

## 「ハーレー・ダビッドソン」

それにしても月日がたつのは早い。あれほど派手に 100 周年記念で大騒ぎした 2003 年からあっという間に 10 年がたち、今年もまたレイバーデーの三連休を皮切りに創立 110 周年記念イベントをスタートさせるハーレーダビッドソンである。

ハーレー（以下 H.D）はその名が示す通り、1903 年に北東部はウィスコンシン州の片田舎で当時僅か 23 歳のウィリアム・ハーレーと、一つ年下のアーサー・ダビッドソンが設立したが、ほどなくしてアーサーの少し年上の兄であり、カンザス鉄道で見習工をしていたウォルターが合流、彼らはその鉄道会社の鋳造所や機械を使ってプロトタイプを作り上げた。そして大工であるダビッドソン兄弟の父ウィリアム・C・ダビッドソンが自宅の裏に小屋を建て中古の旋盤やボール盤を設置し、アーサーが 2 台目のマシン作り、これが正式に H.D 第一号となる。H.D の法人登録は 1907 年だが、この後にダビッドソン兄弟の長男であり、当時すでに 37 歳でシカゴ・ミルウォーキー&セントポール鉄道の修理工場で工具室主任をしていた“大人”のウィリアム・A・ダビッドソンが加わり、ここにアメリカンヒストリーとして名高い、“小屋の前に立つ 4 人の男”が揃う。

しかし、見ての通りダビッドソンだらけにもかかわらず、なぜかハーレーの名が先に来る。それは呼びやすさに加え、ハーレーが心臓部であるエンジンを最初に開発したからである。とは言うものの、彼はその後しばらくしてオートバイに興味を示さなくなり、もっぱら釣りをして過ごした。さらに 21 世紀の現在に至るもハーレー家の人間は H.D の経営には一人もいない。いっぽうでウィリアムの孫ウィリー・G・ダビッドソンは経営陣の一人だし、その娘カレンも有名人であるが、彼らはダビッドソンではなく“ハーレー”を先に置く。それを見る時、単に“4 人の仲よし創業者”というばかりでなく、H.D がその長い歴史を通じてアメリカの企業標準を上回る労使関係を保ってきた訳が分かる。ズバリ「愛」である。キリストは言う。

**「私があなた方を愛した様に、あなた方も互いに愛し合うこと、これが私の戒めです。」**

**ヨハネの福音書 15 章 12 節**

とある。愛とはひとことでは、まず相手のことを考える「自己犠牲」である。実はそれを

徹頭徹尾実践したのがキリストであった。聖書では、その様な者がトップに立つことも示しているが、かつて典型的クリスチャン労働者であった彼らの会社が現在に至るも隆盛を誇っているのは、正にその証拠といっても過言ではあるまい。キリストの愛は最強であり、永遠に不変のものなのだから。

2013-9-5

